

一般廃棄物収集運搬許可業者(事業系可燃ごみ)実態調査

実施機関: 清掃センター

実施日	期間: 8月22日～31日(26, 27, 28日を除く)			
実態調査業者	一般廃棄物収集運搬許可業者 10 社			
実態調査回数	延べ13回			
搬入全体量(kg)	18,680	構成率%	順位	
資源物	金属系	22.8	0.12	
	ビン・缶類	28.6	0.15	
	ペットボトル	146.1	0.78	
	段ボール	956.3	5.12	3
	古紙類	1,783.50	9.55	1
木くず	1,100.80	5.89	2	
ビニール系	742.1	3.97	4	
廃プラスチック	109.1	0.58		
発泡スチロール	148.4	0.79		
研磨くず	15	0.08		
そばがら	175	0.94		
ゴム製ベルト	95.6	0.51		
ナイロン(緩衝材)	80	0.43		
車の床シート等	72.5	0.39		
紙おむつ	87.5	0.47		
その他	13,116.50	70.22		
※可能資源化率	15.7	100		

※可能資源化率は、資源物(金属系、ビン・缶類、ペット、段ボール、古紙類)を搬入全体量で除した割合

【現 状】

- ① 一般廃棄物収集運搬許可業者の一部に産業廃棄物と思われるごみが混在している。
【自動車関係部品等】ゴム製ベルト、金属系、床シートなど
【医療用廃棄物】注射器、点滴用チューブ
- ② 資源物となる古紙類、段ボール、木くずなどが多く含まれている。
- ③ 一般廃棄物収集運搬許可業者の一部に区域外と思われるゴミが混在している。
- ④ コンビニ等から出される燃えるゴミ、ペットボトル、空き缶などは分別されているのに、収集の段階で他のごみと一緒にになり、分別する意味がなくなる。
- ⑤ 病院等から出る紙おむつなどは、今後も廃棄量が増える傾向にあり、衛生面から感染する恐れが考えられる。
- ⑥ 印刷シールごみは、数十メートルのロール状のものがあり、クレーンでつかむ際に支障をきたしている。
- ⑦ ビニール系の袋やナイロン系の緩衝材が多く見られ、高カロリー熱が発生する原因となる。
- ⑧ 木くずの中でも、明らかに角材などの建築廃材と思われるものが含まれている。
- ⑨ その他の分類となるが、紙及びプラスチック製容器包装関係の廃棄物が多かった。